

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】特開 2006-145160 (P2006-145160A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-022
 【出願番号】特願 2004-338760 (P2004-338760)
 【国際特許分類】

F 2 6 B 25/06 (2006.01)

【F I】

F 2 6 B 25/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 1 日 (2007.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

本実施形態における乾燥棚 A は、一对の支持部材 2 の下方に水受け部材 4 が配置された構成である。このため、矩形状の被乾燥物を乾燥させる際に、被乾燥物に付着した水は、菱形の姿勢とされた被乾燥物の周縁ないし支持面 22 を伝って下方に流れ、被乾燥物の下端部から落下することにより水受け部材 4 の内部に確実に回収されることとなる。したがって、被乾燥物を乾燥させる際に、床面が濡れるといった不都合が生じることもない。また、図 6 に表われているように、被乾燥物の下端部は、一对の支持部材 2 間の中央に位置することになるため、水受け部材 4 の短手方向 Y1, Y2 の寸法を小さくすることができる。なお、水受け部材 4 に回収された水は、排水口 43 から図示しないホースなどを通じて適当な場所に排出することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

支持部材 2A', 2B' は、それぞれステンレスパイプなどの 2 本の棒状部材 24A', 24B' によって構成されている。棒状部材 24A', 24B' は、乾燥棚 A' の長手方向に沿い、かつ互いに略平行となるように配置されており、それぞれその両端がフレーム 1 の枠部 12A に連結されている。両棒状部材 24A' は、それぞれ異なる高さに位置し、互いの中心を結ぶ直線が水平に対して略 45 度傾斜するように設けられている。これと同様に、両棒状部材 24B' は、それぞれ異なる高さに位置し、互いの中心を結ぶ直線が水平に対して略 45 度傾斜するように設けられている。したがって、両棒状部材 24A' の中心を結ぶ直線と、両棒状部材 24B' の中心を結ぶ直線とは、上方に開角するように互いに略 90 度の角度をなしている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 9 】

水受け部材 4 ' は、上方が開口する半割円筒形の容器状とされており、長手方向に沿う両端部が折曲成形され、この両端部が枠部 1 2 B に係合することにより、水受け部材 4 ' はフレーム 1 に支持されている。